

市民の暮らし、生命・財産を守る 防災防犯体制の充実

安心して暮らせるまち
であり続けるために

世界有数のカルデラ地帯内に位置する阿蘇市は、火山灰地質に覆われ、災害が発生しやすい地質条件にあります。自然災害が発生しても被害を最小限に食い止められるよう、防災対策の充実に力を注いでいます。



阿蘇中岳の爆発的噴火を想定した山上避難訓練



避難訓練時に行われた応急手当講習

消防・防災体制、防犯体制の充実と、市民一人一人の防災・防犯意識の徹底による予防対策の充実に努め、あらゆる災害と犯罪から市民の生命・財産を守ることを基本に、防災面では平成24年の九州北部豪雨、平成28年熊本地震の経験を踏まえ、安全で災害に強いまちづくりに取り組んでいます。



各種交通安全推進団体による交通安全運動

「お知らせ端末」と同じ告知が
スマホに届きます！

各世帯に設置の「お知らせ端末」で配信される市役所や学校からの各種情報がスマートフォン、タブレット、パソコンのブラウザで受信できます。また、利用者が情報を投稿し、利用者同士で情報交換できます。



多様なツールで防災情報を提供

～防災情報伝達手段の多重化～

災害から大切な家族の身を守るため、正確な防災情報を入手し、早めに行動することが重要です。阿蘇市では、防災行政無線のほか、安全安心メール・防災アプリ・LINEなどの多様なツールでいち早く防災情報を届けます。



医療を通じて住みよい
環境を整える

地域の中での疾病の予防や健康の維持、増進のための活動、在宅の慢性疾患の患者、地域で暮らす高齢者、障害者の介護支援や専門的な助言、妊婦の保健指導など疾患の治療だけでなく、幅広く活動を行い、地域の人々が安心して暮らせる環境を整備しています。



AED講習

阿蘇医療センターは、旧阿蘇中央病院を前身として、平成26年8月に新築移転しました。脳疾患・心疾患の救急医療体制のほか地域の需要に対応した診療機能を整備し、安全安心で良質な医療の提供を基本方針に日々の活動に取り組んでいます。政策医療面においては、5疾病（脳卒中・急性心筋梗塞・がん・糖尿病・精神疾患）5事業（救急医療・災害医療・へき地医療・小児医療・周産期医療）+2（在宅医療・感染対策医療）を担うなど、阿蘇圏域の中核病院としての機能充実を図っています。圏域唯一の第二種感染症指定医療機関でもあるため、指定医療機関として更に機能強化を図り使命を果たしていくとともに、医療政策の諸課題に対応していく、地域における医療需要や疾病構造の変化に適応できる体制整備に継続的に取り組んでいきます。



消防救急

病院群輪番制病院運営
及び休日在宅医

阿蘇地域では、平日の夜間及び休日の昼夜間の救急医療に対応する病院群輪番制病院運営事業を行っています。内科または外科のいずれかを毎日5病院（阿蘇医療センター・阿蘇温泉病院・大阿蘇病院・小国公立病院・阿蘇立野病院）が担当していますので、休日でも夜間でも常に受診できます。

また、日曜、祝日には市内十数箇所の民間病院が交代で診療する休日在宅医事業も行っています。



ヘリポート



消防団辞令交付式

安心して暮らすために欠かせない 地域医療の充実



阿蘇医療圏の中核的な医療を支える阿蘇医療センター